

< 特別寄稿 >

正山征洋先生のご厚意で所蔵されている「ボタニカルアート」の一部を紹介していただく事になりました。大変貴重で興味深く、芸術性も高い作品に加え先生自ら解説されています。

ボタニカルアート

九州大学名誉教授・長崎国際大学名誉教授

正山征洋先生

第27回

ホリンドウ・ゼラニウム



下段左の作品はリンドウの仲間で、根を竜胆と呼び、ゲンチオピクリン等苦味成分を含むので苦味健胃薬となります。

下段右はゲンノショウコ仲間です。タンニンを含むので下痢止めとなるものと思われませんが、ヨーロッパの自生種なので利用はしていません。

上段左はヘビイチゴに近い種、右はフジが描かれています。

ムンドによる1800年代初期の手彩色作品です。

